



日本包装コンサルタント協会

〒104 東京都中央区銀座5-12-8

(社)日本包装技術協会内

☎ (03)545-4678

FAX (03)545-6592

発行者 松本光次

編集者 木村勝三郎

高澤昭男

荒川方夫

No. 5 1990年(平成)2年9月

会 報

会員の皆様へ

この度、日本包装コンサルタント協会会長の大役を仰せつかり、責務の重大さに身の引き締まる思いをいたしております。

ご承知のごとく当協会は昭和58年11月発足し、やがて満7年を迎えることとなります。

これも歴代会長がその重責を果たされた成果であり、また会員の皆様方、さらには(社)日本包装技術協会殿のご支援に負うところ極めて大であります。

お蔭様で会員数も40名となり、会としての活動を通じて、その存在を包装・物流産業界に、より明確に示したいと念願しております。

今日、わが国産業界では、異業種交流や融合化などが進展し、またソフト化、情報化、技術のグローバル化、国際化が大きな流れとなっております。このような時期にこそ当協会は、業界から大いに注目される「プロフェッショナルな燃える集団」として一大展開を画すべきだと存じます。

そのためには、包装関連機械及び物流関係における会員の拡充、また関西支部における消費者包装分野の会員の充実が急務と考えます。

さらに、本年度の運営方針については6項目の課題を立案し、実施いたす所存でございます。

また、会報も体裁を改めて定期的に発行いたします。さらに、対外的にはPR活動を活発化するとともに、研修会セミナーなども開催して、協会の輪を大きく広げたいと願っております。

最後に、当会の一層の発展のために、会員の諸先生方の一層のご尽力・ご活躍と倍旧のご支援をお願い申し上げて、ご挨拶に代えさせていただきます。

会長 松本光次

《協会動向》(4月～8月)

新運営委員会の構成

平成2年度の運営委員会のメンバーは、次の諸氏が選出されました。

1. 運営委員会 委員長：湯川義明
(副)：斎藤龍太郎, 原 明弘
2. 広報委員会 委員長：木村勝三郎
(副)：高澤昭男, 荒川方夫
3. 会員委員会 委員長：三浦 渉
(副)：幕田 達
4. 財務委員会 委員長：高橋武男
(副)：有光 茂, 朝岡保男

運営委員会議事録……………7月17日開催

1. 事業委員会計画面案
 - ①セミナー(研修会)の実施
 - ②東京パック「技術相談コーナー」開設
2. 広報委員会計画面案
 - ①会報の発行
 - ②小パンフレットの発行
 - ③包装技術などにPR記事の掲載
3. 会員委員会計画面案
将来、コンサルタントになりたい希望者を各委員会と協議し、会員の増強を図る。
4. 広報・会員合同委員会を7月31日に開催する

事業委員会議事録……………7月31日開催

1. 東京パック「相談コーナー」相談員(案)
 - ①晴海・幕張の両会場にコーナーを開設
 - ②毎日、1部編成とする
 - ③晴海一日5名とし、延べ25名の動員を依頼予定

広報委員会議事録……………7月31日開催

1. 小パンフレット案
 - ①東京パック及び一般クライアント用の作成
 - ②A-4変型判, 横三つ折, 上質紙
 - ③部数：1000部
 - ④発行：9月末(予定)
2. 「JPCA会報」案
 - ①理事会, 委員会及び会員活動の紹介
 - ②B-4判, 横二つ折4頁
3. PR案
 - ①JPI「包装技術」, その他5誌程度に紹介記事と広告を掲載する
 - ②研修会セミナーの開催なども, 時宣的な掲載を上記誌などに依頼する

◎『包装技術者として我々は 今 何をなすべきか』を討議, 答申

協会は、(社)日本包装技術協会から「わが国の包装活動の総点検と、21世紀に向けての包装のあり方を探る」の趣旨のモデル作成の委託を受け、討議の結果、3月27日、答申書作成。

1. メンバー……………以下11名の諸氏。
議長：木村(年), 副議長：大澤
 - ①輸送容器：久米, 幕田
 - ②物流：原, 木村(勝)
 - ③包装機械システム：鹿島, 斎藤
 - ④消費者包装：松本, 三浦, 湯川
2. 討議内容
 - ①過去20年間の総点検
 - ②問題点と課題の抽出
 - ③対策の討議
3. 会議……………1月11日～3月27日の5回。ほか個別にミーティングを数回開催しました。

《会員活動》(4月～8月)

〔講演・講義〕

井関 義孝

1. 新入社員基礎教育〔各3日間/4日〕
 - ・段ボール及び箱の製造現場指導(A) ……中段工* 5月
 - ” (B) …… ” 6月中段工* : 「中部段ボール工業組合」の略
2. 包装管理士講座・包装貨物及び容器試験法〈名古屋〉 …… JPI 7月

大澤 良明

1. 食品包装の意義と目的 …… 日刊工業 4月
 2. 包装食品の品質保全技法 …… ” 5月
 3. 包装基礎コース(紙器・板紙) …… JPI 5月
 4. 食品包装はどこまで必要か …… 津久井C* 5月
- 津久井C* : 「神奈川県津久井地区行政センター」
5. 包装管理士講座・紙器〈東京〉 …… JPI 6月
 6. ” ・紙器〈仙台〉 …… ” 6月

大西 国男

1. 物流管理士講座・グループディスカッション〈大阪〉 …… PDM 6月
2. 物流管理士講座・複合一貫ユニットロードシステム〈大阪〉 …… PDM 7月
3. 包装管理士講座・集合包装技法 〈大阪〉 …… JPI 7月
4. 物流管理士講座・荷役保管の理論と方法 〈大阪〉 …… PDM 8月

木村 年治

1. 包装管理士講座・輸出包装〈札幌〉 JPI 7月
2. ” 木箱包装設計〈大阪〉 JPI 7月

* PDM : 「日本物流管理協会」の略

篠崎 市郎

1. 包装管理士講座・防湿技法〈東京〉 …… JPI 7月
2. ” 防錆技法〈東京〉 …… JPI 7月

永田 弘利

1. 物流管理士講座・グループディスカッション〈大阪〉 …… PDM 6月
2. 物流管理士講座・荷役機械その効果的運用 〈大阪〉 …… PDM 8月
3. 物流管理士講座・オーダーピッキングとソーティング・システム〈大阪〉 PDM 8月

濱口 啓一

1. コンバータにおける戦略的生産管理システム …… CMM2 4月
2. 軟包装(フレキシブル・パッケージング)包装設計コース(8)〈東京〉 …… JPI 7月

富賀見 久

1. 系列社員教育〔各3日間〕
 - ・ルートセールスマン教育 …… 物流機器メーカー 4月
 - ” …… ” 5月(5大都市で5回実施)

幕田 達

1. 包装管理士講座・輸出包装〈東京〉 JPI 7月

松本 光次

1. 各種食品の包装材料 …… 日刊工業 4月
2. 食品衛生法と自主管理規格 …… ” 5月
3. 包装基礎コース(商品包装技法) …… JPI 5月

三浦 渉

1. 包装管理士講座・包装材料品質評価〈東京・仙台〉 …… JPI 6月

* CMM2 : 第2回国際コンバーティング機材展」の略

〔執筆発表〕

井関 義孝

1. 段ボールと製箱の

- 生産管理(10) ……段ボール事報 4月号
- 2. " (11) " 5月号
- 3. " (12) " 6月号
- 4. " (13) " 7月号
- 5. " (14) " 8月号

石原 昌具

- 1. 紙容器(その1) ……月刊消費者 4月号
- 2. " (その2) …… " 5月号
- 3. プラスチック容器 …… " 6月号
- 4. 鮮度保持包装 ……フード・パッケージング 6月号
- 5. 食品規格の変遷と
容器包装推移 …… " 7月号
- 6. 飲料容器包装 ……月刊消費者 7月号
- 7. 牛乳・乳製品容器 …… " 8月号

大澤 良明

- 1. 紙器の保管管理と白板紙の
試験方法(2) ……CARTON BOX 7月号
- 2. 食品の変敗要因 ……ミート・ジャーナル 7月号
- 3. 包装食品の品質保全技法(1) " 8月号
- 4. 紙器の包装システム ……CARTON BOX 8月号

田辺 幹夫

- 1. 海外包装ニュース紹介 …… " 4月号
- 2. " " 5月号
- 3. " " 6月号
- 4. " " 7月号
- 5. " " 8月号

濱口 啓一

- 1. ラミネートフィルムの加工技法
(¥ 3,200) 日報 4月発行

2. 生鮮食品包装の最近の傾向

……………包装技術 7月号

原 明弘

- 1. 入出荷作業のリアルタイム・コントロール
システム ……物流 5・6月号

〔その他〕

田辺 幹夫

〔特許分類に“Fターム”を付与〕

- 1. 包装機械部門, 特許実案(3) …工業所有権
協力C 4月
- 2. " " (4) " 5月
- 3. " " (5) " 6月
- 4. " " (6) " 7月
- 5. " " (7) " 8月

〔JIS工場申請指導〕

- 6. 段ボール工場の受審のため
書類作成及び社内体制整備 ……D社～7月

〔住所変更のお知らせ〕

片寄 弘之(会員登録No.25)

新住所: ☎ 235 横浜市磯子区坪呑12-23

☎ 045-775-2658 FAX 045-775-2659

〔ご案内〕

'90東京国際シンポジウム ……帝国ホテル(木)

テーマ: '90年代における包装の課題 ……JPI主催

“今, 何が問題で, どうチャレンジしてゆくか”

英国, オーストラリア, 米国, 北欧, 日本の講師

— 編集者から —

※会の動きと会員の皆様の個々の活動状況をお互いに知り合うことにより, ビジネスチャンスに役立てる広報誌としたいと思います。
乞う投稿!!

— 木村(勝) —